

株主の皆様へ

ウェルネオシュガー株式会社
代表取締役会長 仲野 真司
代表取締役社長 山本 貢司

期末のご報告資料（株主通信）発行取り止めのお知らせ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申しあげます。

この度、株主の皆様には、毎年、の定時株主総会後の決議通知とともにお送りしておりました株主通信（「第〇期のご報告」）につきまして、定時株主総会招集ご通知に掲載する内容との重複等を勘案しました結果、2026年3月期（期末）株主通信より、発行を取り止めさせていただくことといたしました。株主通信にてお伝えしてまいりました各種情報は、引き続き当社ウェブサイト等を通じてお届けしていきたく存じます。なお、中間期の株主通信「第〇期中間期のご報告」につきましては、今後も発行を継続いたします。

期末 株主通信
（第15期（期末）より発行を取り止めます）



ウェルネオシュガー株式会社 証券コード 2117

ウェルネオシュガー株式会社
WELLNEO SUGAR Co., Ltd.

代表取締役会長 仲野 真司 代表取締役社長 山本 貢司

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

当社は、2024年10月に子会社の日本製糖株式会社および伊藤忠製糖株式会社と合併し、持株会社から事業会社として新たにスタートいたしました。そして、2025年10月には子会社の第一糖業株式会社との合併も予定しており、今後も経営体制の一段の強化を推進してまいります。

当社グループは、2024年5月に中期経営計画「WELLNEO Vision 2027」を策定し、「Sugarセグメント」における強固な事業基盤の構築と、「Food & Wellnessセグメント」における機能性素材をはじめとするフードサイエンス事業の成長・拡大に取り組んでまいりました。こうしたなか、本年3月に東洋糖業株式会社が新たにグループに加わり、さらに2026年10月に同社との合併を行う基本方針を決定いたしました。合併事業の進捗による経営強化を図りながら、同社の保有する機能性素材や研究・開発技術の活用・継承をグループ全体で共有していくことにより、これまで当社が培ってきた国内での機能性素材の生産能力をさらに強化し、多様な機能性素材・サービスとの掛け合わせによる新たな価値創出の創出を目指すとともに、グループ全体での生産能力の強化と、今後の新たな設備投資や他社との業務提携、M&A等に積極的に取り組み、成長のスピードを加速させてまいります。

事業成長を支える経営体制の強化のため、従業員それぞれの持つポテンシャルを最大限に発揮していくことで会社の成長へと繋げる人的資本経営の推進を図り、また、サステナビリティ経営においては、当社の5つのマテリアリティに基づく分科会を組織し、2030年を見据え、様々なステークホルダーとの共存・共生を目指す「サステナブル・ビジョン2030」を策定し、その実現に向けた取組みを推進してまいります。

これからも、「Qと体」「心と体」「心と心」のビジョンのもと、「食」と「健康」を通じて豊かな生活に貢献していけるよう、公正で透明性の高い経営を継続し、持続的な成長と変化する企業価値向上の実現を目指して、従業員一同、邁進してまいりますので、引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2025年6月

中間期 株主通信
（今後も発行を継続いたします）



ウェルネオシュガー株式会社 証券コード 2117

ウェルネオシュガー株式会社
WELLNEO SUGAR Co., Ltd.

代表取締役会長 仲野 真司 代表取締役社長 山本 貢司

トップメッセージ

株主の皆様には、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

当社グループは、2024年5月に策定した中期経営計画「WELLNEO Vision 2027」に基づき、着実な成長を続けております。本報告書におきましては、第15期における半期の取組みとその成果、最新のトピックス等をご報告いたします。

当社は、2025年10月に、九州エリアの製造・販売拠点を有する子会社の第一糖業株式会社を吸収合併し、「九州工場」と「国産第四期」を新設することにより、全国各地の効率的な製造体制の整備を進めてまいります。また、2026年10月には、子会社の東洋糖業株式会社の吸収合併を予定しており、「Sugarセグメント」での連携による一層の基盤強化と、「Food & Wellnessセグメント」の拡大・成長を一段と加速していく所存です。特に、同セグメントにおける「フードサイエンス事業」では、同社の持つ糖転移技術を活用した新たな素材に関する応用が広がることで、これまでのアルコールや糖質を低減させる機能性素材から、より手軽にコースにお応えできる高品質なラインアップへと拡大するとともに、研究開発・生産力の強化により競争力の向上を図ってまいります。

また、当社グループの持続的成長は、環境・社会との調和を目指していくことが重要であると考え、その取組みを推進するうえで、5つのマテリアリティをベースにした「サステナブル・ビジョン 2030」を策定し、それを軸にサステナブルな経営を推進してまいります。また、従業員一人ひとりがポテンシャルを最大限に発揮し成長することで、企業価値を向上させる好循環を生み出せるよう、働きがい・働きやすさの実現にも取り組み、人的資本経営の推進を図ってまいります。

生活必需品として、高品質な製品を安定的に供給していくことは、我々の果たすべき社会的責任であります。そのうえで、「Qと体」「心と心」のビジョンを軸とした「食」と「健康」に関する様々なステークホルダーの皆様との協働に取り組む、持続的な成長と一層の企業価値向上に努めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2025年12月

株主の皆様には、何卒ご理解と引き続きのご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

以上